沖縄支部に福を呼ぶ

名嘉 政勝
沖縄県

碧い海、青い空。自然がいっぱいの沖縄。
温暖な気候が、思いっきり自由で、あふれる解放感を育てるのでしょう。
人々が、たくさんの優しさをもらえる地です。
沖縄支部運営委員で広報部担当の名嘉政勝さんは
素朴でシャイな雰囲気を持った方です。
支部で女性が多い中、温和で包容力を持つ守り神シーサー的存在感を表しています。
那覇で勤務されていたとき、手話サークルに参加したのがきっかけで
手話への関心が高まりました。
転勤を機に現在の浦添市内の手話サークル「はにわ」で
活動を続けています。

シーサーについて
シーサーは魔よけの獅子像のことです。ふつう、石や漆喰などでつくられるほか、焼き物や木彫りのシーサーもあります。獅子像を魔よけとして祀る習俗は、オリエント地方で生まれ、その後シルクロードを経て中国に広まりました。
（沖縄県立博物館ホームページより）

手話サークル「はにわ」の年間２回あるビッグイベントの一つが「冬のクリスマス会」です。
浦添聴覚部・昼のサークル「ゆい」・「はにわ」合同でおよそ40名が参加しました。
名嘉さんは実行委員長を務めています。
子どもたちの参加も目立ち、その中、まるで家族のように接している名嘉さんは大人気です。
ご本人は独身ですが、時には「ジイ～ジ」や「ナカパパ」とも呼ばれ、
抱っこをせがまれる姿が、信頼の証です。

第11回
ゆい・はにわ・浦聴部 合同 クリスマス パーティー
平成26年12月21日(日)

最近、単独で熊本支部の勉強会に何度も通うほど意欲を見せる名嘉さんは、
趣味のケーキ作りやマラソンにも積極的です。支部の集まりにはよくケーキをふるまい、
毎年、那覇マラソンにも必ず参加しています。
一歩ずつ踏みしめて走る姿は逞(たくま)しく、明日への鼓動を感じます。

今、ウチナーンチュの民意はオール沖縄の動きとして高まるうねりを見せています。
これからも平和と沖縄の海が守られますように！

写真/文　松本 博